

# ロシア東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)4月15日号 No.1258

## 目次

2002年のCIS諸国の経済(上) .....	1
エトセトラ .....	9
モスクワ・メルマガNo.15(IT・エレクトロニクス特集)のお知らせ / 9	
ソフト開発企業「ノボソフト」社プレゼンテーションのご案内 / 9	
ロシア東欧貿易会関連の行事予定 .....	10
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート .....	10

## 2002年のCIS諸国の経済(上)

### はじめに

CIS諸国の2002年の経済データがほぼ出揃ったので、本誌では今回と次回の2回に分けて、CIS統計委員会発表の統計データをまとめて紹介するとともに、これらのデータを踏まえながら各国の最新の経済情勢についてレビューを行うこととする。本号では、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、CIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説を行う。中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)および南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア)のレビューは次号で扱う予定である。

### CIS全般:成長余力に限界が見えつつも安定化は進展

ハイライト 2002年のCIS諸国の経済は、全体として安定化、成長の傾向が確実になり、キルギスのマイナス成長を除くと各国とも4%以上の成長を達成した。

CIS全体のGDP伸び率は、4.8%増であり、2000年の8.3%増、2001年の6.1%増からすると伸び率が減少し、ロシア、ウクライナ、カザフスタンなど主要国を中心とした伸び率の漸減傾向が反映した。ただし、カザフスタンは成長鈍化といっても、9.5%の高い成長を維持し、石油産業の活況が経済を牽引している。その他、産油国のアゼルバイジャンも引き続き、10.6%の高い成長を維持した。一方、非資源国であるが、加工貿易によりアルメニア経済は12.9%とCISで最も高い成長(トルクメニスタンを除く)を記録した。モルドバは、CISのなかで、回